

地方創生推進タイプ (先駆型・横展開型・Society5.0型)

事業概要【新たな視点での取組みによる持続可能な地域の実現プロジェクト】

推進当初

申請者	熊本県ほか2自治体※	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	852,715千円 (167,183千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	従来の取組みとは異なる、新たな視点により、交流人口の拡大や健康づくりの取組み等をモデル的に実施するとともに、持続可能な地域の実現に向けた基盤づくりを行う。地域自らが主体となって継続的に取組みを行う体制を整え、地域の取組みが自走化することで、地方創生の実現につなげる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○持続可能な交流人口の拡大 ・マンガ・アニメ等のコンテンツを活用した誘客促進 (委託料) 47,710千円 ○持続可能な地域の担い手確保に向けた健康づくり ・企業における健康イベント等の実施支援等 (委託料) 15,767千円 ○持続可能な地域の実現に向けた基盤づくり ・プロデューサー人材を活用した地域団体の育成 (委託料) 24,784千円	 健康イベント  プロデューサー人材派遣	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県又はスポーツコミッションが開催・支援するスポーツ大会の参加者数及び観戦者数とアニメコンテンツに係るイベント・ツアーの参加者数 (+5,000人) ②職場ぐるみで健康づくりに取り組む企業・団体数 (+500団体) ③地域課題解決プロデューサー人材の活用件数 (+24件)	関連URL	https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html

※熊本県、宇土市、合志市の広域連携事業

推進当初

3

事業概要【若者の雇用促進による熊本への人の流れの創出プロジェクト】

推進当初

申請者	熊本県	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	392,936千円 (44,842千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	プロフェッショナル人材とのマッチングによる県内企業の魅力向上、県内外の若者及び県内の保護者に向けた県内企業の理解や県内で働くことの魅力等を知る機会の創出に取り組み、進学や就職時に県外へ流出した地方創生人材のUIターン就職による還流促進や県内就職率の向上を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○建設産業働き方改革・人材育成支援事業 ・企業の働き方改革や多様な人材確保・育成の取組みへの補助等（補助金等）16,030千円 ○「建設産業の力」発信事業 ・SNS等を活用した建設関連広報等（委託料等）21,400千円 ○土木及び土木技術職の魅力発信事業 ・魅力発信動画編集等のコンテンツ制作及びPR等（委託料）2,100千円 ○専門高校インターンシップ等充実事業 ・地域と連携した課題研究等の支援（賃借料等）5,312千円		
KPI	①熊本県UIターン就職支援センターを活用して熊本県内に就職した人数（+500人） ②地域企業に対する副業・兼業も含めた人材マッチング件数（+125件） ③事業を通じた専門高校生の県内就職率の増加（+5.9%）		関連URL https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html



「建設産業の力」発信事業

事業概要【熊本版 第4次産業革命に向けた先端技術導入を軸とした地場産業成長プロジェクト】

推進当初

申請者	熊本県	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	515,518千円 (84,734千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	県内企業の先端技術(= IoT、AI、ロボット等を中心とした第4次産業革命技術)導入を支援することで、生産性の向上による産業界の人手不足解消や、収益性の向上による経済的波及効果の創出による地域経済の活性化を実現する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○経営者向け周知とデジタル技術導入計画策定支援 ・県内中小企業におけるデジタル技術の普及啓発等 (委託料) 5,114千円 ○製造業等・I Tベンダーが連携した地域経済牽引事業への重点的な支援 ・モデルケースとなりうる先進性の高い取組みへの補助 (補助金) 40,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域経済牽引事業における支援対象となる設備投資に対する支援事業者の付加価値額の増加額 (+ 60,000千円) ②IoT、A I等の先端技術を活用した県内企業の新たな取組件数 (+ 90件) ③県内企業と県外企業を繋ぐI Tプラットフォームの登録企業数 (+ 180件)	 デジタル技術導入計画策定支援	関連URL https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html

事業概要【更なる高みへ！「農業」を軸としたビジネスモデル展開プロジェクト】

推進当初

申請者	熊本県	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	493,934千円 (120,043千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	前身事業で開発した商品を更にグレードアップさせて新たな市場開拓につなげたり、これまで支援してきた地域とは別の地域や視点で実施する、新規性や地域経済への波及効果の高い取組みについて支援を行うことで、本県の強みである「農業」を軸として、熊本の創造的復興と地方創生を加速する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地域経済牽引事業者への支援 ・新たな熊本ブランド商品開発に伴う設備整備等を支援（補助金）50,000千円 ・地元農畜産物を活用した複合的施の設備整備を助成（補助金）24,000千円 ○農林水産加工事業者への総合的な支援 専門家によるセミナー開催、アドバイザー派遣等（委託料等）12,783千円  専門家によるセミナー 農畜産物を活用した商品		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①事業実施による支援事業者の新規雇用者数（+90人） ②事業実施による観光拠点への来客数（+2,400,000人） ③地域経済牽引事業における支援の対象となる設備投資に対する支援事業者と支援事業者との取引額が多い過半の域内の事業者の売上額、取引額又は給与支払額の合計額の増加額（+4,400,000千円）	関連 URL	https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html

事業概要【未来へつなげるくまもと農業の人財確保・育成プロジェクト】

推進当初

申請者	熊本県	初回採択回	令和2年度第2回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	677,206千円 (121,057千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	本県の強みである農業の持続的、安定的な発展のため、くまもと農業を担う人財の確保・育成を図るとともに、熊本への人の流れを加速化させることで「競争力のあるくまもと農業」の実現を目指す。その実現に向け、円滑な経営継承の支援体制構築や、就農を目指す者のすそ野拡大など、将来にわたって新規就農者（人財）を安定的に確保する取組みを推進する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○くまもと農業経営継承センターを活用した就農支援 ・就農希望者と離農予定者のマッチング等（補助金）27,569千円 ・新規就農者等に対する支援強化等（補助金）10,000千円 ○研修生の受入体制の充実と就農定着支援 ・受入農家等の資質向上の研修会や情報交換のためのネットワークの構築など（補助金等）42,958千円 ○選ばれるくまもと農業の推進 ・中学生・保護者・教師等を対象とした啓発活動（委託料等）2,670千円		 新規就農相談の様子
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①事業を通じた新規就農者数（+500人） ②事業を通じた経営継承マッチング締結件数（+75件） ③県新規就農支援センターの就農相談延べ件数（+240件）		関連 URL https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html

事業概要【人吉球磨10市町村が一体となった地域連携DMOによる観光地域づくりプロジェクト】

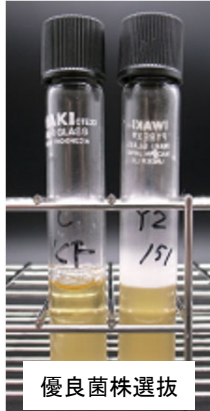
推進当初

申請者	熊本県人吉市ほか9自治体※	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	198,952千円 (40,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	- 人吉球磨地域の認知度を高め、地域自体をブランド化して競争力のある観光地域づくりを進める - 交流人口と観光消費額の拡大による地域経済の活性化を図り、雇用の創出や所得の向上を促進する - 若者の地域外への流出を抑制するとともに移住を促進し、社会減や少子化による人口減少に歯止めをかける		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1. 地域の稼ぐ力強化事業 30,912千円 ○水害復興・～再生Rebornプロジェクト～ 総合テーマパーク化深化事業（地域ブランドの販路拡大）19,486千円 ・イベント開催を契機としたテーマパーク化事業の深化・拡大等 ○国内誘客の促進 4,783千円 ・着地型旅行商品の流通継続及び展開に係るプロモーション等 ○国外誘客の促進 6,643千円 ・インバウンドターゲットに向けた新しい体験型コンテンツやモデルルートの造成等 2. 地域の推進体制確立事業 9,088千円 ・KPI数値到達に向けた地域観光実態の調査経費、事業展開への反映のための調査データの分析・評価作業経費、DMO運営に係る専門人材配置等	   	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①宿泊者一人1日当たりの観光消費額（+3,965円） ②延べ宿泊者数（+35千人） ③外国人延べ宿泊者数（+2.4千人）	関連URL	事業の進捗状況・実施体制・効果検証（市HP） https://www.city.hitoyoshi.lg.jp/shisei/shisei_keikaku/sogokeikaku/2305288

※熊本県人吉市、錦町、多良木町、湯前町、水上村、相良村、五木村、山江村、球磨村、あさぎり町の広域連携事業

推進当初

9

申請者	熊本県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	644,928千円（91,247千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	令和2年7月豪雨で被災した球磨川流域等について、醸造食品産業の生産性向上やブランド再構築による地域産業の活性化、豊かな自然、文化等の地域資源を活用した観光振興等による交流人口の拡大、防災・治水対策等の専門教育の充実による人材の育成、災害弱者の避難支援体制の構築や豪雨災害の記録の収集・発信による地域防災力の強化に一体的に取り組み、創造的復興を強力に推進し、持続可能な地域の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○醸造食品産業の生産性向上と災害に強い体制整備 ・微生物の分離収集・解析・保管等の実施（需用費、使用料）11,267千円 ○球磨焼酎のリブランディング ・蔵ツーリズムによる誘客促進（補助金）3,000千円 ○森林資源活用による森林サービス産業の創出 ・森林サービス産業創出に向けたプラン作成、実証等（補助金、事務費10,308千円） ○豪雨災害の経験を生かした防災対策 ・豪雨災害記録の収集・発信（委託料・事務費）13,672千円		 微生物の分離  優良菌株選抜  新商品開発支援 醸造食品産業の生産性向上と災害に強い体制整備
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①球磨焼酎の出荷量（+12,481kl） ②人吉・球磨地域の延べ入込客数（+3,005,500人） ③外部人材(高度な測量技術者、宮大工等)と連携した教育活動の実施数（+51回） ④アーカイブ化のための資料収集件数（+20万件）		関連URL https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html

事業概要【くまもと型オープンイノベーション推進プロジェクト】

推進当初

申請者	熊本県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	240,263千円 (45,448千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	県内企業を中心とした産学官連携によるオープンイノベーションの促進を図ることで、ウイズ・アフターコロナ時代の新たな社会環境にも対応したビジネスや本県の「強みとなる産業」の創出につなげ、地方創生の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○オープンイノベーションに必要な連携体の構築等の支援 ・県内企業と大学が有する技術シーズなどから将来有望なテーマの掘り起こしや支援の実施（委託料）12,937千円 ○製品・技術開発への支援 ・新たな製品や技術の開発を支援（補助金）20,000千円		 半導体サプライチェーン強化 合同研究会
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①プロジェクトにおける共同研究等の件数（+18件） ②戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）等の採択件数（+11件） ③プロジェクトにより課題解決につながった件数（+300件）		関連URL https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html

申請者	熊本県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	446,247千円 (90,063千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	これまで進めてきた草原の保全・維持の取組みを、SDGsを原動力に、「環境」・「経済」・「社会」の3つの側面から統合的に深化させながら、「環境の保全」「農畜産業の振興」に加え、「関係人口の増加」「交流人口の増加」「移住定住の促進」「シビックプライドの醸成」を図り、阿蘇地域の持続的な発展を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○持続可能な草原維持システムの構築 新たな担い手の掘り起こしや活動支援等 (委託料、補助金) 15,287千円 ○放牧草地の生産性維持・担い手確保の促進 ・放牧サポーターの就農・移住定住に向けた支援等 (補助金) 19,060千円 ○世界文化遺産登録に向けた理解醸成・磨き上げ ・「阿蘇」の世界文化遺産としての価値の整理に向けた学術検討 や海外の類似資産との比較分析 (委託料、一般需用費) 12,165千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	①草原再生面積 (野焼き放棄地における再開地面積及び未利用牧野における放牧再開面積) (+1,005ha) ②阿蘇草原応援企業サポーター認証企業数 (+60社) ③草資源を活用した農産品に係る“食の体験”イベント参加者数 (+2,780人) ④阿蘇地域が「世界文化遺産登録」を目指していることについての地元住民等の認知度 (+55%)	関連 URL	https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html



事業概要【地域の農林水産業を元気に!くまもと県南フードバレーの推進による豪雨災害からの復興支援プロジェクト】

推進当初

申請者	熊本県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	793,402千円 (124,533千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	豪雨で被災した県南地域の創造的復興及び地域の活性化推進のため、地域経済を牽引する「人材づくりと体制づくり」を推進するとともに、地域農産物を活用する地域事業者が行う「売れるモノづくり」や「強靱な販路づくり」を支援することで、県南を支える農林水産業の持続的発展を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○県南フードバレーを支える人材づくりと地域を牽引する体制づくり ・若手経営者や経営者への講座（経営塾）の実施や受講者を中心とした新ビジネス創出支援（負担金）5,600千円 ○地域経済牽引事業者への重点的な支援 ・海外展開やインターネット通販強化等の多角化を目的とした施設整備や設備投資等に要する経費の支援（補助金）74,533千円		 人材育成（経営塾）  施設整備(無洗米装置及び少量計量包装機)
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①当事業の支援により施設整備等を行った地域経済牽引事業者及びその地域経済牽引事業者との取引額が多い促進区域内事業者の売上合計額の増加額（+1,530,400千円） ②地域経済牽引事業者及び地域事業者による新規取引（契約）件数（+200件） ③地域経済牽引事業者及び地域事業者による海外企業との新規取引（契約）件数（+15件）		関連URL https://www.pref.kumamoto.jp/sos/hiki/18/187865.html

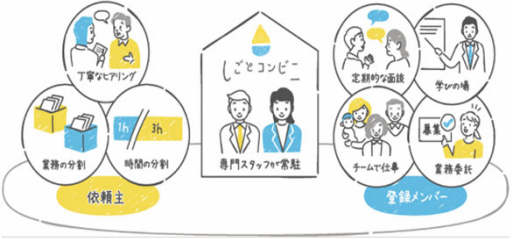
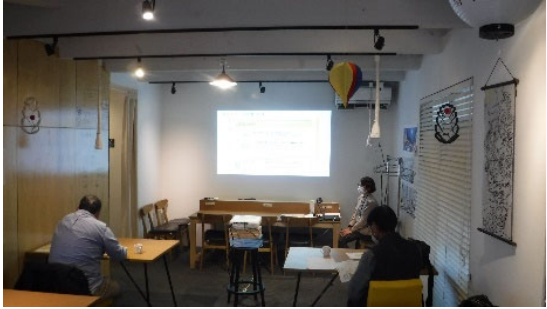
事業概要【くもと型スマートツーリズムの確立による地域活性化プロジェクト】

推進当初

申請者	熊本県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	655,258千円 (81,219千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	デジタルの視点を取り入れたマーケティング手法の確立や、周遊性・滞在性の更なる向上、民間活力を活用した魅力的な観光施設の整備といった、スマートツーリズムの仕組みづくりと地域の魅力向上・観光の高質化に取り組み、地域経済の活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○デジタル技術を活用した観光マーケティング手法の確立 ・コンテンツ制作、デジタルプロモーションの実施・分析等 (負担金) 28,620千円 ○スマート観光交通体系構築推進事業 ・観光と交通の構築・改善に必要なデータの整備・収集等 (負担金) 20,974千円 ○地域の活性化を牽引する観光拠点づくり ・宿泊施設、観光施設及び観光消費拡大につながる特産品製造施設等の整備への補助 (補助金) 10,000千円		 事業イメージ
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光客への現地調査における、本県観光プロモーションコンテンツによる本県観光客への上乗せ数 (+473,600人) ②事業を通じて新たな観光コンテンツの開発や施設整備を行った拠点施設における地域在住者雇用者数 (+26人) ③事業を通じて新たな観光コンテンツの開発や施設整備を行った拠点施設をめぐる旅行商品プログラムの造成数 (+29本)		関連URL https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html

事業概要【まちの人事部機能の創出による人材還流促進及びデータバンク構築・利活用事業】

推進当初

申請者	熊本県南小国町	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	110,000千円 (24,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・新たな雇用創出に向けた事業に取組み、各産業の担い手不足解消を図る。 ・労働力の需給に関するマッチング体制を整備し、町内における人材育成の横断的な実施につなげる。 ・人材の地域内での活動を測定できる仕組みを整備することで、人材マッチングの精度向上につなげる。 ・地域で横断的に活躍できる人材を育成し、地域の課題解決や人手不足解消を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○人材流動化による新たな雇用創出事業（地域越境人材の継続的な配置） ・新たな雇用創出事業の深化・高度化（委託料）11,000千円 ・労働力の需給に関するベストマッチングを高精度で実現する体制の整備（委託料）3,000千円 ・大手企業に向けた地域越境研修の構築（委託料）3,000千円 ○地域越境人材データバンク事業（地域越境人材の評価・再配置） ・地域越境人材のデータバンク化（委託料）2,000千円 ・データバンクを活用した地域越境人材の新規案件組成等（委託料）2,000千円 ○法人との関係構築事業（法人の地域越境の創出） ・地域との共創を希望する企業との継続的な関係構築（委託料）3,000千円 九州初上陸！「しごとコンビニ®」南小国町で導入開始  「しごとコンビニ®」概要  「しごとコンビニ®」登録会の様子		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①起業及び新規事業による売上総額（+35,000千円） ②新たな雇用事業登録マッチング件数（+425件） ③地域越境人材データバンク登録人数（+240人） ④本事業実施による移住者数（+44人）		関連URL https://www.town.minamioguni.lg.jp/

事業概要【国際スポーツ大会を契機とした観光基盤整備プロジェクト】

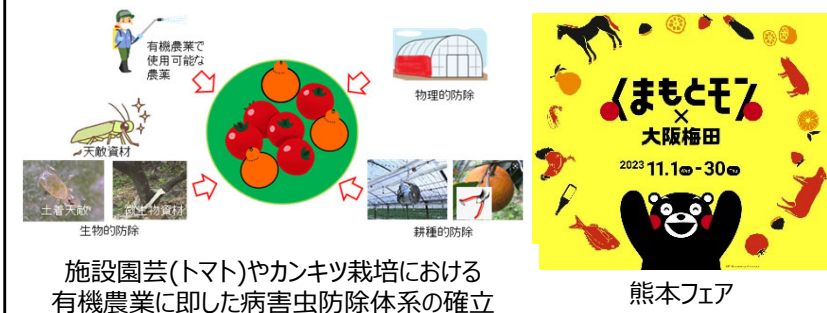
推進当初

申請者	熊本県、熊本市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	481,491千円 (136,729千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	2019年の大規模国際スポーツ大会のレガシーを引き継ぎ、更に積み重ねることで、交流人口拡大と地域活性化を図るため、本県が強みを持つバドミントンの国際大会の定期的な開催を目指す。さらに、社会の変容に応じたワーケーション等の新たな観光スタイルに対応し、県内周遊促進や新たな交流・関係人口の創出を図ることで、国際スポーツ大会を起爆剤とした持続的な経済効果を生み出す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○国際スポーツ大会の開催 ・国内外の選手・スタッフ及び観客等を円滑に受け入れるための大会運営の実施 (負担金) 95,000千円 ○国際バドミントン大会での熊本でおもてなし促進事業 ・インフォメーションセンターの設置、選手・役員や観戦客への誘導対策等 (負担金) 20,000千円 ○新たな観光スタイル促進事業 ・専門的知見を有するアドバイザーの派遣及び地域と企業とのマッチング人材の育成 (委託料等) 3,742千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①国際大会の観客数 (+39,000人) ②熊本県ワーケーションネットワーク参画事業者等数 (+90者) ③滞在・交流プログラム利用者数 (+340人)		関連URL https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html

事業概要【「グリーンエボリューション（緑の進化）」への挑戦！ 環境と競争力の両立による持続可能な地域づくり推進プロジェクト】

推進当初

申請者	熊本県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	544,662千円（127,369千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	「環境にやさしい農業の高度化」と「稼げる農業」の両立により、持続可能な農林水産業への進化「グリーンエボリューション」を実現し、食料の安全保障を強化するとともに、地産地消による消費意欲の向上と新たな販路開拓等による競争力の強化により、地域における経済の自立的好循環を促し、SDGsの理念に沿った魅力的で持続可能な地域づくりを行うことで、地方創生の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○有機農業技術の確立と地域環境づくり ・病虫害防除技術の実証等（委託料等）62,978千円 ○地産地消やSDGsに対する機運醸成と消費意欲の向上 ・地産地消推進基盤の強化等（委託料等）21,133千円 ○商品の磨き上げとマーケティング力の向上 ・テストマーケティングの実施等に対する補助（補助金）10,000千円 ○首都圏等への販路拡大 ・首都圏百貨店と連携した熊本フェア開催等（委託料等）33,258千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①有機農業に取り組む農業者数（+139人） ②県地産地消ホームページの閲覧数（+17,300PV） ③伴走型支援を行った中小企業者のうち、支援を実施する前年度から、経常利益が年率1%以上向上した中小企業者数（+160社）	関連URL	https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html



事業概要【産業の創出・集積に向けたエコシステム形成及び空港機能強化プロジェクト】

推進当初

申請者	熊本県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	656,776千円 (154,014千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	阿蘇くまもと空港周辺地域を拠点に、熊本の強みであるライフサイエンス分野（医療、健康、農業等）を中心とした新たな産業の創出を目指す「UXプロジェクト」を推進する。併せて、空港における国際航空貨物輸送の実現に向けた取組みや2023年春の新ターミナルビル供用開始に向けたPR等を展開し、空港の機能強化や周辺地域の拠点性向上、さらには将来にわたる本県の持続的な成長につなげる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○UXプロジェクトの推進 ・各種イベントの開催、人材育成プラットフォームの構築等（委託料等）35,274千円 ・マッチングプログラムの実施、協業等を促進するコーディネーターの配置等（委託料等）48,464千円 ・テクニサーチパーク内の先行的な交流拠点施設の管理運営（委託料及び賃借料）22,815千円 ・支援機関、大学、民間事業者等と連携した研究開発型スタートアップの掘り起こしや創業、研究開発支援（委託料等）33,880千円		 「UX」に込めた想い - YOU …… 身近な人から世界中の人々を指して「あなた」と表現します - 結ぶ …… 人と人、人と情報、人と情報を「結び」つめます - 開く …… 熊本県の価値を追求します - CROSS …… 人と人、人と情報、人と情報をかけあわせ - 未来 …… これから起こる未来のイノベーションに期待します
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①UXプロジェクトの取組みに係る企業等のマッチング・協業件数（+32件） ②UXプロジェクトの取組みに係る企業・団体等の参画数（+260者） ③阿蘇くまもと空港の利用者数（+371万人）		関連URL https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html

事業概要【世界のマーケットへチャレンジ！

新たな自然共生型産業創出・販路開拓プロジェクト】

推進当初

申請者	熊本県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	314,630千円（51,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	県内における自然共生型産業の売上額等を更に拡大するとともに、海外への積極的な販路開拓・拡大など新たな事業展開を図るため、「新規事業創出、既存事業イノベーションへの支援」、「デジタル技術を活用した地域経済牽引事業への重点的な支援」、「輸出障壁への対応に係る支援」の3つの柱で、本県におけるイノベーションを活性化するエコシステムの形成を推進し、地域経済を活性化させることで、地方創生を深化させる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○新規事業創出、既存事業イノベーションへの支援 ・県内企業と県内外の外部機関との協業による新たなビジネス支援の支援事業を実施（委託料）4,000千円 ○輸出先進モデル育成支援 ・輸出規制対策や新市場開拓等の先駆的取組に挑戦する個別事業者への支援（補助金）7,000千円 ○デジタル技術を活用した地域経済牽引事業への重点的な支援 ・地域の事業者への高い経済波及効果が見込まれる事業に対する支援（補助金）40,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域経済牽引事業における支援対象となる設備投資に対する支援事業者の付加価値額の増加額（+669,900千円） ②オープンイノベーションプログラムによる県内企業と外部機関との協業数（+15件） ③規制市場へのチャレンジによる県内事業者と海外市場との新規取引件数（+45件）		
		関連URL	 商談会の様子 https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html

事業概要【「熊本の底力を！」新たな時代の流れに向けた企業の魅力向上、人材の育成発現プロジェクト】

推進当初

申請者	熊本県	採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	628,325千円（154,132千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	熊本地震、令和2年7月豪雨災害及び新型コロナウイルス感染症で落ち込んだ中小企業者の事業継続と発展を推進することにより、企業の魅力向上を図るとともに、県内の優秀な若者の育成・地元定着、外国人受け入れのための環境整備による人材確保を図り、県全体の経済の活性化を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○専門家を活用した中小企業者の経営強化、中小企業者・中小企業協同組合のデジタル化の推進（委託料、補助金）115,679千円 ○複数の高校が連携した学科間・地域間連携プロジェクトや県立高校の情報や取り組みについてのPRを実施（使用料、委託料、事務費）28,030千円 ○受入事業者向けのやさしい日本語教室等の開催や外国人材へ熊本で働く魅力を伝える情報発信の実施（委託料、事務費）9,023千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①事業を活用した事業者のうち、前年と比較して財務状況が好転した事業者数（+960社） ②DX（デジタル化）のために専門家を活用（派遣）した事業者数（+3,600社） ③県立高校の連携先企業等の数（+34者） ④外国人雇用事業者数（+390社）	デジタル相談窓口ポスター やさしい日本語教室開催風景 外国人材向けパンフレット 中学生向けパンフレット	関連URL https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html

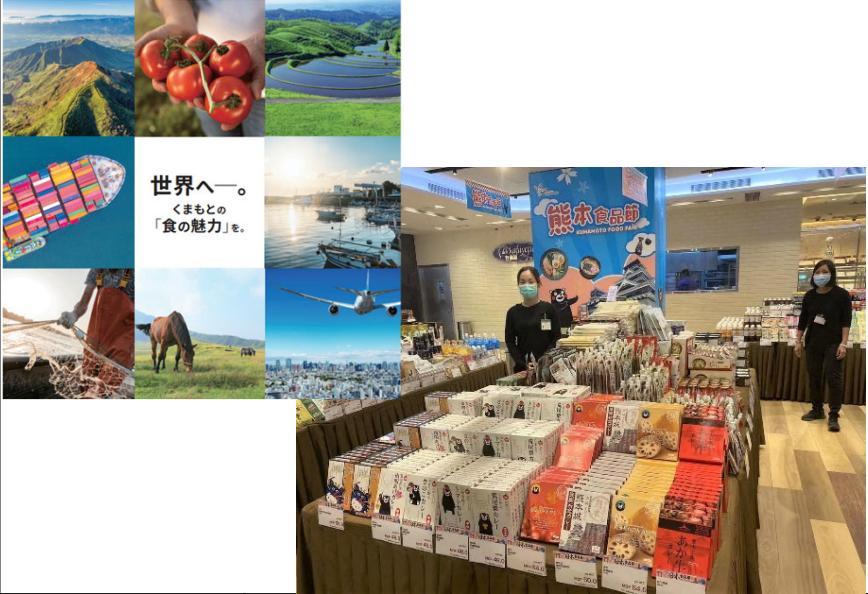
事業概要【くまもとDXグランドデザイン推進プロジェクト】

推進当初

申請者	熊本県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	310,411千円 (65,108千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	DX (デジタルトランスフォーメーション) を熊本の将来の発展につなげるため、産学官が連携してDXを推進する共通の羅針盤となる「くまもとDXグランドデザイン」を令和3年度に策定。このグランドデザインに基づく取組みの裾野を広げるため、推進体制を整備し、取組事例を蓄積・横展開することで、県内におけるDXの機運醸成に取り組む。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○DX推進に係るコンソーシアムの運営 ・コンソーシアムの運営 (オープンイベント、商談会等マッチング支援に係る取組み等) (委託料) 30,852千円 ○DX人材育成 ・社会人を対象とした実践型の研修 (委託料) 6,000千円 ○農作業の効率化の実証 ・荷受け予約を行うアプリの実証等 (委託料等) 2,572千円		 DXセミナー  花き管理DX推進事業
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①DXグランドデザインに基づく取組みプロジェクトの数 (+70件) ②コンソーシアム参加団体数 (+200団体) ③イチゴ「ゆうべに」の作付面積 (+20.4ha) ④実証経営体におけるデコポンの出荷率 (+12%)		関連URL https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html

事業概要【魅力ある農水産物・加工品を中心とした地場産品の販路拡大によるくまもと創生プロジェクト】

推進当初

申請者	熊本市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	163,287千円 (34,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	- 本市農水産物等の魅力を発信し、ブランド力の向上を図る - 本市農水産物等の輸出額を増大させることで、農業者等の所得向上を図る - 熊本の素材を活かした地場産品の販路拡大につなげ、地場企業の経営基盤の安定化を図る - 農水産業を中心とするその他幅広い産業において、将来にわたり「しごと」を生み出し、地域の発展を目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○農水産物・加工品の海外販路拡大支援 - 輸出力強化のため、「くまもと輸出促進ネットワーク」による地域商社等とのマッチングの促進 (委託料) 5,500千円 - アジア、北米等での熊本産品の商談会やフェア、プロモーションの実施 (委託料) 14,000千円 (負担金) 500千円 ○その他販路拡大 - 熊本の素材を活かした食品加工品や工芸品を大都市圏の商談会に出品 (委託料) 6,000千円 - 物産展等 (対面・オンライン) への出展を行う事業者に対し、必要な経費の一部を補助 (事業費補助金) 6,000千円 - EC展開支援推進事業 (委託料) 2,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本交付金事業実施に伴う農水産物・加工品の輸出の増加額 (+75,000千円) ②本交付金事業実施に伴う農水産物・加工品の海外販路開拓数 (+30件) ③物産商談会開催事業を通じた商談成約率 (+17%)	関連URL	熊本市しごと・ひと・まち創生総合戦略検証委員会について https://www.city.kumamoto.jp/hp/kiji/pub/detail.aspx?c_id=5&type=top&id=24969

事業概要【創業支援と地場企業の強化によるくまもと創生プロジェクト】

推進当初

申請者	熊本市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	601,478千円(135,213千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的(効果)	・創業や起業支援による新たな産業の創出や企業の技術革新の支援により地域に活力を生み出す ・質の高い多様な雇用の場を創出することによって若者の転出を抑制し、若者が活躍するまちを実現する		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○創業支援 ・市域内のスタートアップ等に対し、伴走型支援プログラム等の成長段階に応じた様々な支援を実施するとともに、成功事例の創出や関係者の巻き込み等を行い、市域内で起業家が絶え間なく生まれる仕組みを構築(委託料ほか)41,294千円 ・起業の普及啓発や創業機運の醸成を図り、起業家の裾野を拡大(負担金、事業費補助金)15,400千円 ・「くまもと森都心プラザビジネス支援施設」を本市における創業支援の中心として位置づけ、スモールビジネスからスタートアップ等まで幅広い支援を求める創業者が集い、繋がる場を創出(委託料)8,000千円 ○技術革新等の支援 ・地場中小企業等の高付加価値化に繋げることを目的とし、産学官連携の強化や、新製品・新技術の研究開発等の支援を実施(事業費補助金ほか)50,519千円 ・デジタル化などの新技術への対応や導入支援を行うことができる人材の育成を行うため、セミナー開催やデジタル技術の活用に向けた伴走支援などを実施(委託料)20,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①くまもと森都心プラザビジネス支援施設を契機とした創業者数(+18人) ②支援事業を通じたスタートアップ等による資金調達件数(+60件) ③支援事業を通じた製品化・事業化件数(+14件)		
	関連URL	熊本市しごと・ひと・まち創生総合戦略検証委員会について https://www.city.ku-mamoto.jp/hpkiji/pub/detail.aspx?c_id=5&type=top&id=24969	



申請者	熊本県八代市ほか2自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	84,933千円 (19,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・アウトドアツーリズムの推進及び受け入れ環境の整備を行うことで、アウトドアファン層の誘客を行う。 ・初心者・ファミリー層が気軽に訪れ、アウトドア体験ができる圏域を実現する。 ・滞在時間の延長及び観光消費額の増大を図る。 ・圏域住民と観光客の交流の場を提供し、関係人口の創出を拡大させる。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○アウトドアツーリズム推進人材の確保及び育成（委託料）：7,000千円 ○海外観光客向け情報発信事業（委託料）：2,000千円 ○周遊性を高める体験プログラム・ツアーの造成（委託料）：3,000千円 ○周遊型サイクリングイベントの開催（委託料）：4,000千円 ○圏域のキャンプ場を活用した交流イベントの開催（委託料）：2,000千円 ○アウトドアツーリズム受け入れ環境整備費用（工事請負費）：1,000千円 ・氷川町の既存のキャンプ施設の野外トイレを、キャンプ場利用者やサイクリストが利用しやすくなるよう和式トイレから洋式トイレへ整備・改修する。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①サイクルツーリズムによる施設訪問者数（+7,520人） ②キャンプ事業の利用申し込み数（+2,500件） ③アウトドアイベント参加者数（+500人）	関連URL	https://www.city.yatsushiro.lg.jp/kiji0032847/index.html

申請者	熊本県八代市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	56,793千円 (19,626千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・令和2年7月豪雨で被災した八代市坂本町においては、医療機関も被災し無医地区同様の状態となっている。この地域は高齢率が60%と最も進んだ地域の為、デジタル医療MaaS推進事業を実施することで、医療機関受診に係る負担の軽減と医療サービスの安定した提供を実現することにより、地域住民および医療機関の更なる負担軽減を行う。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	医療機関 (診療所・調剤薬局)  インターネット ・テレビ会議システム ・予約情報共有システム 車両(看護師・ドライバー)  モバイルクリニック   〈連携〉 ●八代市 ●熊本県 ●八代保健所 ●八代郡医師会 ●八代市内医療機関 ●八代薬剤師会 ●交通事業者等 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①遠隔診療車によって医療アクセスを確保することができた患者数 (+100人) ②坂本地区における無医地区が解消した割合 (人口ベース) (+65%)	関連URL	https://www.city.yatsushiro.lg.jp/kiji0032847/index.html

申請者	熊本県八代市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	49,441千円 (21,250千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	スマート農業技術の導入により、農作業の効率化・省力化を図るとともに、品質の均一化等による所得の向上を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○本市農業が抱える各分野の課題解決に向けた実証事業の継続、実証されたスマート農業技術・仕組みの導入推進 ・協議会負担金 20,000千円 ○自らスマート農業技術を学び、導入を検討する農業者団体に対して、先進事例の調査、研修等に伴う経費の一部を補助（補助率1/3以内、上限5万円） ・農業者団体への補助金 250千円 ○農業経営への不安感を軽減し、職業としての農業を選択してもらうために、高校生、女性等、就農に興味がある者を対象に講座を開催 ・協議会補助金 1,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業による新規就農者数（+3人） ②本市における新規就農者数（+95人） ③本事業によりスマート農業を体験・実践した農家及び就農に興味がある者の件数（+110件）	関連URL	https://www.city.yatsushiro.lg.jp/kiji0032847/index.html



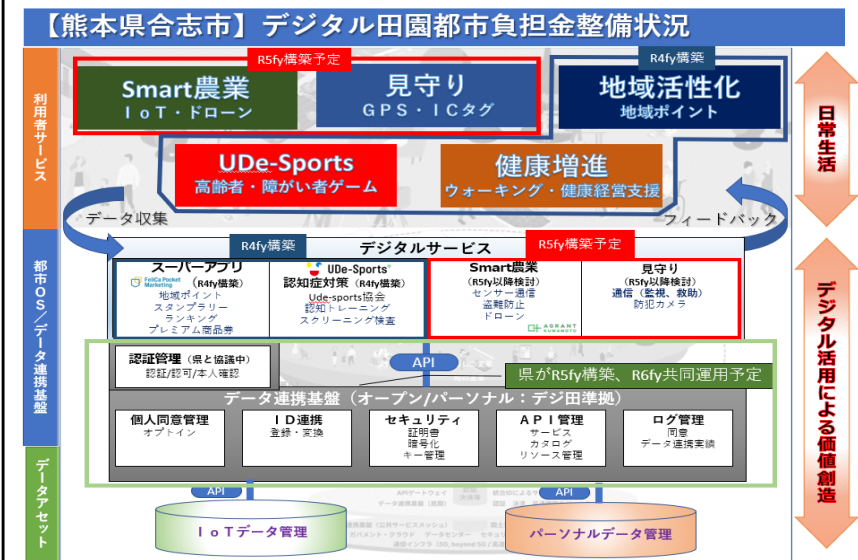
申請者	熊本県山鹿市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	59,100千円（10,400千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・大会や合宿などのスポーツコンベンション活動を積極的に展開し観光関連事業者・実業団チームとの連携による本市ならではのスポーツビジネスの創出を図ることで、交流人口の拡大による経済波及効果を高めていく ・デジタル技術を活用したこれまでにない新たな取組や“ひと”にフォーカスした取組を通じて、多くの関係者との連携を強化し、まちの賑わいづくりの中心となる人材の発掘や育成を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○にぎわい再創出事業 (1) 観光誘致対策事業（コンベンション宿泊助成） (2) 来訪者を呼び込むための仕組みづくり （委託料）5,700千円 ○ふるさと未来創造事業 (1) eスポーツを活用したにぎわいづくり、人材育成 （委託料）1,200千円 (2) まちゼミ等を活用した市内事業者間の交流促進、事業者間の連携強化、人材育成 （補助金）1,800千円 (3) やまが未来創造塾事業（旅費等）700千円 (4) 「やまがびと」作成業務（委託料）1,000千円 熊本県山鹿市 e-City YAMAGA プロジェクト 令和3年度 展開事業 将来展望 各分野でeスポーツに関する取組を展開、山鹿市内の「eスポーツ」認知度、関係人口を増加させていく。 福祉 ・地域や施設間でeスポーツ大会実施 など 観光 ・温泉を活かした、学生やプロスポーツプレイヤー向けの合宿誘致 など 教育 ・児童向けプログラミング学習の実証 ・山鹿eスポーツクラブを創設 ・高等学校にeスポーツ部を創設 など 世代・業種間を超えた交流促進 成果・目標 eスポーツで様々な世代や分野を繋ぎ、交流を図り、新たな文化を楽しむ地域へと発展 にぎわい 元気になる人材 観光需要 創出 八千代座でeスポーツ大会を世界配信！ 先進的な児童向けプログラミング学習！ eスポーツを活用したにぎわいづくり、人材育成 イメージ		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光入込客数（+493千人） ②観光宿泊者数（+159千人） ③観光消費額（+2,969百万円） ④まちゼミ参加店舗数（+12件）	関連URL	https://www.city.yamaga.kumamoto.jp/kiji0031681/index.html

申請者	熊本県合志市	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	87,714千円（26,400千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・市民の誰もがチャレンジできる移動販売による創業支援の体制を整備 ・食の消費拡大による産業振興と交流人口の拡大による地域経済の活性化 ・消費者と事業者を繋ぐデジタルプラットフォームを構築		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	①チャレンジ合志事業 4,752千円 ・創業者支援セミナー（DX人材の育成）及び商品開発セミナー（メニュー造成）の開催 ②KOSHIマルシェ事業 12,980千円 ・市内マルシェイベント及び首都圏マルシェイベントの開催 ③健幸合志事業 3,168千円 ・移動販売による買い物弱者支援の実施 ④デジタル技術を活用した情報発信事業 5,500千円 ・情報発信のプラットフォームとなるWEBサイトの運営及びデジタルマーケティングを活用した動画制作		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①事業を通じた創業者数及び新規参入者数 （+30人（社）） ②事業を通じたマルシェイベントの参加者数 （+6,800人） ③事業を通じた移動販売の購入者数（+550人） ④事業を通じたデジタルプラットフォームへの登録者数 （+55人） 関連URL 総合戦略有識者会議 https://www.city.koshi.lg.jp/list00496.html		

事業概要【市民と地域産業の共創が生み出すウェルビーイングなまちづくり事業】

推進当初

申請者	熊本県合志市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	115,000千円 (40,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	健康と幸福をキーワードに、あらゆる産業にデジタルの視点を加え、市民が興味を持ち行動を変容する仕掛けと産学官の有機的な連携から新たなマーケット（健康自然共生型産業）の創出を行う。併せて、データ二次利用から生み出される価値を利益と変え、地域包括ケアシステムとデジタル田園都市国家構想を同時に実現し、持続可能でウェルビーイングな地域社会形成を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	①各種データを安全に繋げる情報連携基盤の構築 ・システム整備（委託費等）26,400千円 ②事業推進体の設立・運営（運営費）3,300千円 ③収集・分析データが見える化し、市民と双方向でのフィードバックが行える仕組みを整備 ・システム整備（委託費）25,000千円 ④デジタル人材育成 ⑤他自治体との広域連携推進事業 ⑥異業種連携データ利活用による新事業創出事業 ・サービス構築（委託費）80,300千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①サービス創出数（+10人） ②サービス等の利用者数（+3,000人） ③新規雇用数（+18人） ④データの二次利用数（+17件）	関連URL	https://www.city.koshi.lg.jp/list00496.html



申請者	熊本県小国町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	50,605千円（21,351千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	- 今回の事業では既存施設である北里柴三郎記念館の魅力向上を図り、博士を深く知る機会を創出する - 北里柴三郎記念館を中心とした商店や飲食店、宿泊施設との連携による域内観光地への交流人口の拡大及び収益の増加による観光消費額の増加を図る。 - 交流人口の増加や、施設収益の増加による雇用の創出により、滞在交流型観光地としてのイメージを高めていく。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【広報活動】12,600千円 ・2024年の新紙幣発行に向けた、町内の機運醸成と、町外者へ広く周知することを目的とした番組やP R C Mを含めたP Rツールの制作と放送を行う。 【式典事業】1,321千円 ・広く北里柴三郎記念館を発信するため式典を行う。 【北里大学と連携した医療セミナーの開催】1,500千円 ・観光入込客数及び観光消費額の増加を目的に、北里研究所（北里大学）と連携し、大学の医師や医学生を招聘し、医療関係者など医療に関心のある方を広く対象とし、現代の先進医療や健康などをテーマとしたセミナーを開催する。 【P Rツール作成】5,930千円 ・町内の機運醸成及び、町外者へのP Rのために、のぼり旗及び街路灯フラッグの設置を町内各所に行う。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①北里柴三郎記念館の入館者数（+22,000人） ②観光消費額（+1,902,993千円） ③観光客入込数（+830,000人）		関連URL https://www.kumamoto-oguni.lg.jp

事業概要【緑川を中心に地域資源を生かした活性化プロジェクト事業】

推進当初

申請者	熊本県甲佐町、美里町	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	92,197千円 (49,300千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	甲佐町と美里町両町の社会減の状況を見ると、特に若い世代の転出超過が大きなウェイトを占めており、転出先や通勤・通学先においては熊本市が圧倒的に多い状況にある。両町の地域特性を生かした交流人口・関係人口・定住人口を増やす取組みにより、人口社会減の解消を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○移住・定住施策の充実事業 ・空き家バンク制度の充実4,800千円、提案型空き家バンク事業6,000千円、住宅開発に関する調査6,000千円 ○交流人口の拡大、関係人口の創出事業 ・地域資源を活用した魅力発信及び交流人口拡大のための観光協会への支援4,500千円、まちづくり団体への支援4,000千円、広域的な観光ルート整備のための商工会支援8,500千円、周遊に係るデジタルスタンプラリー運営業務4,500千円、魅力発信PR封筒デザイン業務400千円 ○教育環境の充実事業 ・甲佐高校の魅力化に関する業務3,000千円、特色ある教育環境魅力化公営塾の運営2,600千円、公営塾の備品400千円、特色ある教育（プログラミング等）運営3,100千円 ○子供たちの夢実現・チャレンジ講師派遣業務1,500千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①相談事業を経た移住・定住者数 (+85人) ②イベントやデジタルスタンプラリーに参加した観光客数 (+35,500人) ③甲佐高校から地元企業への就職者数 (+35人) ④地元中学校からの甲佐高校への入学者数 (+12人)		関連URL https://www.town.kosa.lg.jp/q/aview/134/10741.html



事業概要【SDGs未来都市山都町有機農業を核としたまちづくりプロジェクト】

推進当初

申請者	熊本県山都町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	66,207千円（20,800千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・町内の児童生徒に対し地域の特性を活かした学習を実施し、地域に対する理解と関心を深め山都町の担い手となる人材の育成を図る。 ・有機農業をPRし、新規就農者や新規就農を目指す移住者の増加を図る。 ・豊富な食資源を活かし、その存在や価値をPRすることで観光振興を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○町を支える人材育成 ・食育事業、食育プログラム事業（報償費等）6,218千円 ・農業体験、収穫体験ツアー（委託料）1,000千円 ・子ども向け人材育成事業（委託料）550千円 ○循環型社会構築のための活動促進 ・生ごみを活用した堆肥生成事業（委託料）2,992千円 ○観光客や関係人口の増加につながるまちのブランディング ・食のブランド化事業（委託料）3,410千円 ・関係機関との連携（委託料）3,515千円 ・普及啓発パンフレット等の作成（委託料）2,620千円 ○自立に向けた体制構築 ・プラットフォームの構築（委託料）495千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①移住者数の増加（+70人） ②生活系ごみ一人一日当たりの排出削減量（▲36g） ③有機JAS認証事業者数の増加（+4事業所） ④観光客入込数（+457,000人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） 令和6年8月公表予定

申請者	熊本県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	496,853千円 (124,016千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	農林漁業者の所得向上のため、生産から販売までの各事業者の連携による付加価値創出等、フードバリューチェーンの最適化に取り組むとともに、生産性向上、生産コスト削減、販売ニーズに応じた安定供給等、持続可能な生産体制の構築に取り組む。また、国内での流通体系の確立、輸出に対応した商品づくりやプロモーション等販路拡大に取り組み、稼げる農林水産業の実現、ひいては「日本の食料安全保障の一翼を担うまもと」の実現と地域活性化を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○フードバリューチェーン構築支援 ・選果場等における作業効率化のための人材育成、機能強化につながる機器の再配置・機材導入経費（補助金等）8,000千円 ○国内でのあさりの流通体系「熊本モデル」の確立や認知度向上 ・「熊本モデル」の整備・運用（負担金）14,292千円 ○輸出における販路拡大 ・事業者への中長期的な伴走型支援（委託料）4,000千円 熊本県産あさり産地証明支援システム アサリの流れと一緒にQRコードをバトンのように受け渡し、産地証明書の情報を更新		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①事業の実施により、フードバリューチェーンの課題解決につながった取組みの割合（+86.1%） ②熊本県産あさり販売協力店舗数（+1,745店舗） ③輸出支援コンシェルジュによる事業者支援数（+37件） ④ブリ人工種苗の試験生産を開始した種苗生産施設（+4件）		
	関連URL	https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html	

申請者	熊本県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	290,758千円 (55,418千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	コロナや災害といった外的要因により、著しく活力が低下している地域資源のリブランディングに取り組むことで、本県ならではの価値を明確化させ、観光地としての基盤を固めるとともに、SDGsをテーマとした高質かつ新しい教育旅行の受入体制強化や、観光関連データの「見える化」によるDXの推進に、県と観光事業者、地元関係者等が丸となって取り組むことで、熊本の魅力・ブランド力を高め、熊本への誘客を推進する。併せて、水際対策の緩和によるインバウンドの再開に加え、半導体受託生産最大手であるTSMC（台湾）の熊本進出を受け、本県における最重要市場となった台湾との更なる交流促進と、台湾からのインバウンド誘客強化を通じた地域経済の活性化を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地域資源のリブランディング ・不知火海の魅力発信（委託料）19,000千円 ○台湾教育旅行受入体制構築事業 ・受入検討会、学校意識調査、マッチング対応等（委託料）8,500千円 ○台湾インバウンド誘客強化事業 ・マーケティング、情報発信、現地旅行会社セールス等（委託料）15,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①熊本県の外国人延べ宿泊者数（+342,000人） ②熊本県の教育旅行宿泊者数（+43,500人） ③観光DMPを活用して立案・実行・結果集約・評価された観光関連施策の事業数（+120事業） ④不知火海の魅力発信動画のYouTubeの再生回数（+200,000回）	関連URL	https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html



申請者	熊本県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	479,449千円（129,530千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	台湾の世界的半導体メーカーであるTSMCの国内初となる新工場建設というビッグチャンスを生かし、半導体関連産業等の将来を担う人材の育成、新工場周辺地域の渋滞・交通アクセスの改善、ゼロカーボンの推進、国際的な教育環境の整備等に取り組むことで、県内への波及効果を最大化させるとともに、将来的にはシリコンアイランド九州の復活につなげ、半導体の安定供給を通して日本の経済安全保障に貢献する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○県立高校の半導体関連人材育成 ・学校が実施するキャリア教育に係る費用の支援等（委託料等）32,376千円 ○公共交通利用促進に係る取組み支援 ・公共交通の利用促進に取り組む企業等への支援（補助金）2,000千円 ○国際的な教育環境の整備 ・インターナショナルスクールの整備促進（補助金）85,359千円		 半導体関連人材育成  インターナショナルスクール
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①当事業の高校生向け教育プログラムへの延べ参加生徒数（+21,100人） ②インターナショナルスクールの児童生徒数（+65人） ③セミコンテックパーク周辺企業の公共交通通勤者数（1日あたり／年平均）（+950人） ④当事業によってアグリゲーター事業を開始した事業者数（+1者）		関連URL https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html

事業概要【花とみどりの魅力ある「森の都」再生プロジェクト】

推進当初

申請者	熊本県熊本市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	317,400千円 (73,400千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	緑を感じる都市空間の形成や更なる賑わい創出、市民一人ひとりの緑化活動の向上等を図り、魅力ある「森の都くまもと」ブランドの再生を実現することで、花や緑を通じた中心市街地の活性化と回遊性の向上による交流人口の拡大や、地域の魅力や特性を生かしたまちづくりを推進し、ひいては将来的な移住・定住の促進に繋げる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	※実行委員会方式による実施のため全て委託料 ○都市空間緑化創出事業 - 花や緑を活用し、潤いと癒し、緑の豊かさを創出し魅力ある「森の都」を演出する。また、併せて、緑化の取組の紹介など広報活動も積極的に行い、市民の緑化意識を継続的に維持・高揚させていく。41,400千円 ○花や緑の体験に関する事業 - 身近にある花や緑を知って学び、遊んで親しむ体験を通して、自然（資源）のあり方や利活用を考え、身近にある自然との新たな向き合い方を発見する事業を実施する。18,000千円 ○ステークホルダー育成事業 - 市民（ボランティア等）協働の修景花壇設置や、緑に関する講習会等の参加機会を提供することで、緑の大切さや緑化に関する知識の普及、既存ステークホルダーの意欲向上や、森の都を築く新たな担い手の育成を図る。14,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①中心市街地における1日当り本イベント最大参加総人数/休日（ボランティア・市民団体キャスト含む）（+44,765人） ②花と緑に関連する熊本市全体のボランティア団体数や市民団体数（+25団体） ③中心市街地における緑視率の割合（+7.15%） ④スポンサー花壇における協賛企業数（+10社）		



中心市街地の活性化
回遊性の向上による交流
人口の拡大



地域の魅力や特性を
生かした
まちづくりの推進

将来的な移住・定住の促進

関連
URL

熊本市しごと・ひと・まち創生総合戦略検証委員会について
https://www.city.kumamoto.jp/hpkij/pub/detail.aspx?c_id=5&type=top&id=24969

事業概要【民間活力を活用した健康づくり（介護予防）事業】

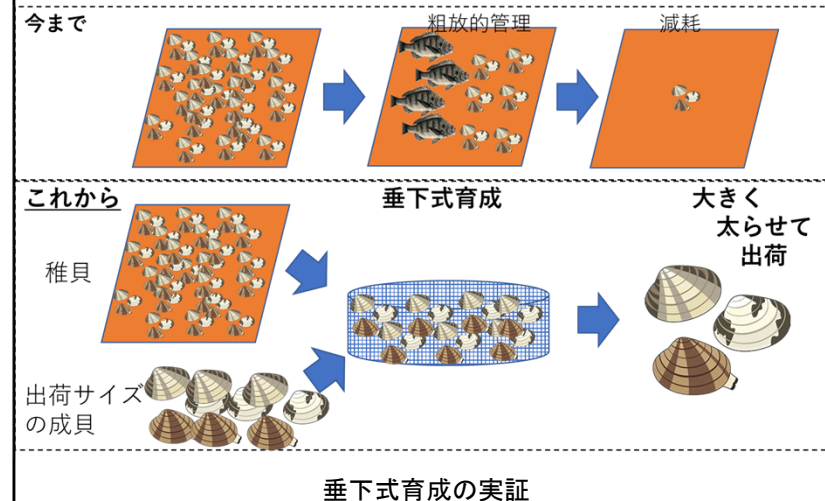
推進当初

申請者	熊本県熊本市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	95,000千円 (29,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・誰もが健康で生きがいを持って暮らすことができるまちの実現のためには、早期の健康づくりや介護予防の取組の推進による健康寿命の延伸が急務であり、健康志向の低い市民にも訴求し健康リテラシーの向上を図る。 ・誰でも気軽に、自主的に健康づくりや介護予防に取り組むことができる持続可能な環境を構築することで、誰もが生きがいを持って自分らしく健やかに暮らすことができるまちの実現を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○民間活力を活用した市主催の介護予防教室の実施 ○プログラム終了後の活動継続の支援 ○データの活用 委託料総額29,000千円 【内訳】 ・事業実施費用（運営費、広報費、システム使用料、管理費）26,000千円 ・成果連動型支払額3,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①厚生労働大臣が定める「基本チェックリスト」の改善（運動機能に関する質問項目5項目のうち、3項目以上の該当者が、2項目以下となる）（70%の改善率）（+75%） ②運動習慣がない者のうち、運動習慣を持つようになった者の割合（+65%） ③プログラム参加者の参加率（+75%）	 関連URL	熊本市しごと・ひと・まち創生総合戦略検証委員会について https://www.city.kumamoto.jp/hpkiji/pub/detail.aspx?c_id=5&type=top&id=24969

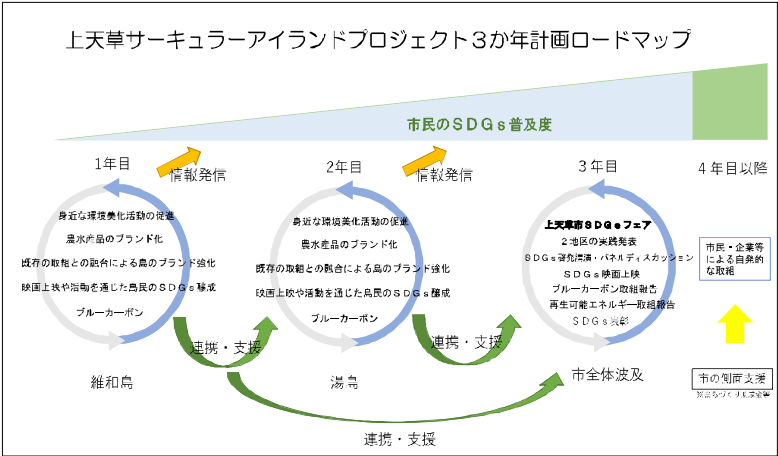
事業概要【八代の儲かるアサリ漁業のV字回復に向けた産学官連携プロジェクト】

推進当初

申請者	熊本県八代市	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	42,037千円 (15,290千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	・若者を中心とした世代が、暮らし、働き、子育てできる地域を創出する。 ・スマート技術を活用した水産業の推進とブランド確立を図る。 ・漁業就業者の収益の安定化と後継者不足の解消を図る。 ・定住人口や関係人口の拡大に貢献する地域社会の構築を図る。		
事業概要・ 主な経費	※経費内訳はR6年度事業費 ○漁業収益の確保プロジェクト実証試験 ・垂下式育成の実証試験及び適地診断に向けた環境データ収集（委託料）5,564千円 ・産地別アサリの特性の明確化（委託料）2,153千円 ・八代産アサリのプロモーション（委託料）3,300千円 ・ブランド化に向けた試験販売（委託料）1,375千円 ○漁獲量の拡大プロジェクト実証試験 ・漁獲作業の省力化実証（委託料）1,482千円 ○協議会等の運営・支援委託 ・関係者協議4回（委託料）849千円 ・協議録作成・報告（委託料）567千円		
KPI	※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 ①アサリ関連の売上額（+9,340千円） ②アサリの平均単価（+500円/kg） ③アサリの漁獲量（+5,900kg）	関連URL	https://www.city.yatsushiro.lg.jp/



申請者	熊本県上天草市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	21,503千円 (8,102千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・農水産品の生産、消費・販売、食品残渣の肥料化と循環の仕組みを構築し、受入環境整備の充実を図る ・受入環境整備を充実させることにより、観光振興による関係人口の創出及び移住促進を図る ・加工品の開発、販売拡大に取り組むことで収益拡大につながり、一次産業の振興を図る ・市民のまちづくりへの参画意識を醸成し、郷土愛が醸成されることにより定住促進を図る		
事業概要・ 主な経費	○上天草市SDGs未来都市計画に沿って、全島的な取組であるブルーカーボン事業を絡めて、小さな拠点として整備し、湯島島内で循環する特有の仕組みについて構築するもの ・現状調査に係る経費 220千円 ・ワークショップ等を通じた啓発事業 1,650千円 ・廃材や端材活用の取組 1,087千円 ・島と農水産品のブランド化 990千円 ・アマモ場造成体験機会の創出 440千円 ・令和7年度に横展開する地域の選定 339千円 ・営業管理費 483千円 ○ブルーカーボンオフセットに関する取組 ・情報発信事業（委託料） 2,100千円 ・市内団体への支援事業（補助金） 600千円 ・生命の海プロジェクトバス借り上げ料 193千円 ※経費内訳はR6年度事業費		
KPI	※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 ①上天草高校生の就職者のうち地元就職者数（+30人） ②市内で排出される家庭ごみ（可燃ごみ）の一人当たりの削減量（+14.85g） ③Jブルークレジットへの申請プロジェクトの件数（+6件）	関連URL	令和6年6月公開予定



事業概要【天草市デジタルアートの島創造事業】

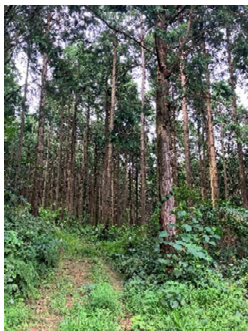
推進当初

申請者	熊本県天草市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	68,645千円 (21,991千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的 (効果)	若者の流出抑制対策として、若者に人気で、雇用人数も見込める成長産業のゲーム・アニメ等のデジタルコンテンツ産業の創出に取り組み、同産業が地場産業として根付くことによる人材の定着と、外貨を稼ぐことで地域経済循環率の向上を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ゲーム・アニメ等のデジタルコンテンツ制作会社の誘致 ・パンフレットの制作、フォームマーケティング及びWEB面談、SNS広告の実施によるPR活動 (委託料) 1,891千円 ○ゲーム・アニメ等クリエイター育成、事業の啓蒙 ・人材の育成講座の実施、普及啓発に係るイベントの実施 (委託料) 5,000千円 ○デジタルコンテンツ産業人材獲得支援 ・クリエイター誘致用パンフ、特設WEBサイトの制作、CGワールド等での広告、SNS広告、コンテンツ東京への出展PR活動 (委託料) 3,000千円 ○事業推進組織としてCG・デザイン制作会社を官民共同により設立、運営する。 ・一般社団法人デジタルアート天草の運営費 (委託料) 12,100千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①コンテンツ産業の市内の雇用者数 (+15人) ②コンテンツ産業の進出企業数 (+4社) ③クリエイター育成講座への参加者数 (+90人)	関連URL	https://www.city.amakusa.kumamoto.jp/kiji00311408/index.html



事業概要【林業6次産業化推進事業】

推進当初

申請者	熊本県天草市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	92,222千円（26,137千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	森林資源の利活用に伴う他産業（農水産業）との連携波及を目指し、林業を中心とした次の取り組みを行い、本市の総合戦略で掲げている”天草を支える産業の発展と安定した雇用の創出”と”市民が誇りを持ち、安心して暮らせるまちづくり”を実現し未来に残すことで市内の人口増加・維持を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地域商社設立準備業務 ・地域商社の機能、構築要件の整理、地域商社の設立調査準備（委託料）9,490千円 ○市有林の活用方法検討 ・市有林を使い林業従事希望者向けの教育プログラムや木育プログラム等の試験運用等（委託料）6,000千円 ○農・水産業との連携検討 ・関係者へのヒアリングによる実態把握調査（委託料）1,000千円 ○森林信託実現可能性調査 ・市有林の信託化とJ-クレジット発行の実現可能性を調査（委託料）6,000千円 ○林業6次産業化検討委員会運営業務 ・林業6次産業化事業の進捗管理、事業の方向性の検討（委託料）900千円 ○各教育プログラムを行うアウトドアパーク整備計画の作成 ・アウトドアパークの整備に向けて、場所の選定や設計（委託料）2,747千円	 内装の木質化による木材需要の拡大  市有林の開放による担い手育成支援	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本交付金事業実施に伴う新規の施業対象山林面積（+180ha） ②地域の森林資源を利用した教育・木育プログラムへの参加人数（+40人） ③本交付金事業実施に伴う新規林業就業者数（副業含む）（+6人） ④本交付金事業実施に伴う市産材の搬出量（+700m³）	関連URL	https://www.city.amakusa.kumamoto.jp/kiji00311408/index.html

事業概要【コンパクトSDG s スタディプログラムプロジェクト】

推進当初

申請者	熊本県錦町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	50,204千円 (16,302千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	観光拠点施設である錦町立人吉海軍航空基地資料館を核に、SDG s をテーマに町内の周辺企業と連携を図り、学習プログラムを策定し、教育旅行商品として販売する。教育旅行や社会科見学を受け入れることで、観光入込客数の増加、町全体への回遊、観光消費額を増加させ、地域における新たな「しごと」を創出し、人口減少を抑制する「まち」を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1.SDGsを核とした新たな教育旅行プログラム開発 ・学習プログラムロードマップの策定、有識者による監修、動画シナリオの制作 5,192千円 2.選ばれる教育旅行コンテンツ事業 ・旅行事業者及び教育関係者への営業、意見交換、交渉 2,574千円 3.高付加価値ガイド強化事業 ・ガイドテキスト制作、ガイド育成講習会の開催 1,738千円 4.DXを用いたエリアマーケティングによる認知促進事業 ・SNS広告及び効果検証 6,798千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①修学旅行及び社会科見学の催行数（+72校） ②学習プログラム数（+4個） ③町内観光消費額（+3,078千円）	関連URL	https://www.town.kumamoto-nishiki.lg.jp/

事業概要【五木村の「宝＝森林資源」をフル活用した
“ひかり輝く”新しい五木村の実現！グリーン成長加速化総合対策プロジェクト】

推進当初

申請者	熊本県、五木村	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	305,340千円（67,883千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・五木村の豊富な森林資源や県有林をフル活用し、適切な森林整備を実施しながら、林業の川上から川下までの森林資源の高付加価値化、林業担い手の確保・育成や所得向上等など林業施策を核とした取組みを推進。 ・さらに、これら取組みをモデルとして、林業関係者をはじめとした様々な関係者と連携を図りながら、県内の同様の課題を抱える地域に横展開・普及して五木村だけでなく他地域の地方創生にも繋げる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1 循環型林業の構築を通じた林業の活性化 38,800千円 ・共同管理など様々な森林管理手法の調査 ・低コスト・花粉症対策再造林技術の有効性等の実証調査 ・先進的な架線集材作業の実証調査 ・保全林の設定基準や針広混交林等の森林づくり指針の検証・策定 2 林業を支える「人財」の発掘・育成 18,083千円 ・「くまもと林業大学校」の機能強化や新技術導入促進・普及のための拠点整備の検討 ・自伐（型）林家育成のための研修会等の実施 ・林業DX人財育成のためDXアドバイザー派遣や研修会の開催等 3 森林が生み出す新たな利益の最大化 1,000千円 ・森林資源利活用に向けた検討のための講師招聘による研修会や先進地の現地調査の実施		1 循環型林業の構築を通じた林業の活性化  低コスト造林に繋がる機械等の新技術の活用  先進的な架線集材導入の促進 2 林業を支える「人財」の発掘・育成  自伐（型）林家の定住促進  林業DXの推進 3 森林が生み出す新たな利益の最大化 村内の人材の活用と村外の企業等と連携 → 出口戦略・森林資源の高付加価値化の検討
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①熊本県における農林水産就労者数（+9人） ②五木村の再造林率（+20%） ③五木村の素材生産量（+4,196m3） ④五木村の林業事業体におけるDX技術導入事業体数（+3者）		関連URL https://www.pref.kumamoto.jp/so-shiki/18/187865.html

事業概要【半導体産業と農業の共存共栄！くまもとの産業持続化環境整備プロジェクト】

推進当初

申請者	熊本県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	383,809千円（143,443千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	国家プロジェクトでもあるTSMC進出をはじめとした半導体産業の集積による経済発展と環境保全を両立できるよう、水資源の保全や環境負荷の低減に取り組むとともに、農地の確保・担い手の確保育成や畜産業の生産性の向上に取り組むことで、本県の基幹産業である農業の持続的発展につなげ、半導体産業と農業の共存共栄を目指し、県土の均衡ある発展を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地下水保全等 ・周知啓発（委託料）3,226千円 ・地下水涵養の拡充に向けた調査等（委託料）19,102千円 ○環境負荷の低い半導体製造装置の開発 ・低環境負荷型半導体製造装置の開発支援（一般需用費）2,018千円、（備品購入費）11,990千円 ○地域の特徴を生かした稼げる農業の確立 ・貸借可能な農地の把握および情報共有の仕組みづくり（委託料）20,771千円 ・飼料効率が高く高品質な枝肉の生産（備品購入費等）76,019千円 ・県南市町村のニーズヒアリング・構想づくり等（委託料等）10,317千円 水田灌水のようす 地下水解析図 天然由来の研磨材 研磨材 超音波 ファインバブル 超平坦化 洗浄 低環境負荷技術による半導体材料の超平坦化 熊本地域地図イメージ図 企業の農業参入 褐毛和種雄牛「重波衆」 黒毛和種雄牛「美津福屋」		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①熊本県における農林水産出荷額（+3,885,957千円） ②県有種雄牛の選抜頭数（+2頭） ③プロジェクトにおける知的財産化件数（+2件） ④地下水の人工かん養量（大津町及び菊陽町）（+310万m3） 関連URL https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html		

事業概要【若者の定着・関係人口創出プロジェクト】

推進当初

申請者	熊本県	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	188,454千円 (62,818千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	本県の将来を担う高校生を中心とした若い世代を対象に、地域をフィールドとした課題解決学習や伝承芸能活動を通して地域への愛着を育み、若者の地元定着を図るとともに、県外在住者に対して本県の魅力を発信し、熊本ファンの獲得や地域活動参画へのマッチングを行い、関係人口の創出・拡大を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○関係人口創出事業 ・地域活動への参加希望者と地域をマッチングする仕組みの構築等 (委託料) 36,902千円 ○福岡県における関係人口強化事業 ・福岡県における県内市町村PRイベントやマッチングイベントの開催 (委託料) 10,000千円 ○伝承芸能活動をしている子どもへの地域間交流の創出 ・伝承芸能団体の活動地域を超えた交流の実施等 (会場使用料・撮影料・運営費、講師謝金・旅費: 2,000千円)		 関係人口創出のためのPR・マッチングイベント
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数 (+90人) ②子どもたちによる地域間交流団体数 (+5団体) ③マッチングシステムを活用して地域活動へ参画した人数 (+120人)		関連 URL https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html

事業概要【国内外からの観光客誘客促進事業】

推進当初

申請者	熊本県熊本市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	250,000千円 (83,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	TSMC関連産業の集積促進や台湾との新たな定期便の就航、ソウル・香港との国際定期便の再開など、本市は観光需要や地域経済の回復に向けた絶好の機会を迎えている。この機会を着実に本市観光産業の活性化等につなげるための起爆剤として、新たにナイトタイムエコノミー事業等に取り組み、国内外からの観光客誘致をさらに促進し、観光産業の活性化を図ることで、地域経済の更なる発展及び雇用の確保を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ナイトタイムエコノミー企画推進事業 ・飲食などを中心とした『夜の魅力』を発信・活用するナイトコンテンツ（デジタルクーポンやパブクロール等）や、熊本城周辺を活用したプロジェクションマッピング等を実施（委託料）42,500千円 ○観光客受入環境整備経費 ・観光案内サインの改修計画の検討（委託料）5,000千円 ・食の多様性に関するセミナー（委託料）4,000千円 ・地域通訳案内士の認定及び研修を実施（委託料）2,000千円 ○観光客誘客促進事業 ・世代やニーズに合わせ費用対効果が高いSNS広告を実施（委託料）12,000千円 ○台湾誘客事業 ・現地旅行博出展やInstagram情報発信（繁体字）（委託料）3,500千円 ○戦略推進事業 ・観光マーケットリサーチの実施（委託料）8,500千円 ・高付加価値旅行者向けホテル誘致検討（委託料）4,000千円 ・レスポンスブルツーリズムの推進（動画コンテンツ等制作費）（委託料）2,000千円		  
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+300億円/年） ②市内宿泊者数（+510,000人/年） ③旅行者の満足度（+6%） ④ナイトタイムコンテンツの作成数（+4回/年）		関連URL 熊本市しごと・ひと・まち創生総合戦略検証委員会について https://www.city.kumamoto.jp/hpkiji/pub/detail.aspx?c_id=5&type=top&id=24969

申請者	熊本県八代市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	69,021千円 (23,007千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	・デジタル技術を活用しながら、輸出に興味を持つ事業者を支援する。 ・農林水産物の輸出実績がある専門人材を登用し、輸出に興味を持つ市内事業者の訪問や助言等を実施する。 ・輸出相手国のニーズ調査等の情報分析や商流・物流のマネジメントを行う。 ・ターゲットとする市場に受け入れられる商品の開発や改良、海外での販売体制を構築する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1. 輸出促進人材派遣事業【5,661千円】 輸出や商品開発等に精通した人材を事業者へ派遣する。 2. アジア圏域輸出促進事業【12,151千円】 海外での認知度及びブランド力向上のためトップセールスを実施。デジタル技術を活用した輸出手続等に取り組む。 3. 新市場開拓事業【5,195千円】 海外でのニーズを集約し、販売戦略を構築する。市内事業者への情報をフィードバックすることで、販路開拓や商品開発等の展開を図る。 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①農林水産出荷額 (+17百万円) ②輸出額 (+1,753万円) ③輸出品目数 (+7品) ④輸出商談件数 (+29件)	関連URL	調整中

事業概要【先進技術とデジタルを活用しEBPMによる疾病予防・健康行動促進・地域医療の質向上・効率的な見守りを促す誰もが安心して長生きできるウェルネススマートタウン事業】

推進当初

申請者	熊本県荒尾市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	423,850千円 (130,158千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	生活習慣に起因する疾患による医療給付費が高いという地域課題を解決し、生活習慣の改善で市民の健康寿命の延伸と健康格差の解消を実現することで「生涯活躍のまち」を実現することに加えて、住民のWell-Beingを向上することで交流人口を増やし、人口流出の抑止、流入拡大により、人口減少・少子高齢化の地域課題の解決を実現する		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○疾病発症リスクが高いハイリスク者へのアプローチによる疾病予防・健康づくり ・ハイリスクアプローチによるリスク者の低減 64,417千円 ・デジタルを活用した地域医療介護の質向上 39,112千円 ○リスクが高くない・無関心層を含む全市民に対するポピュレーションアプローチによる疾病予防・健康づくり ・ポピュレーションアプローチによる地域全体への健康行動促進 12,036千円 ○蓄積したパーソナルヘルスケアデータに基づく施策成果の見える化と改善サイクルの確立 14,593千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン者数 (あらお海陽スマートタウンへの移住者数 (+180人)) ②平均自立期間 (日常生活動作が自立している機関の平均) (+0.30年) ③健康行動を継続的に実行している市民の割合 (+6%) ④毎年、健康診断や人間ドックを受診している市民の割合 (+3%)		
	関連URL	https://www.city.arao.lg.jp/shisei/shisaku/sogo-keikaku/page4791.html	

推進当初

49

事業概要【天草市ブルーカーボン推進事業】

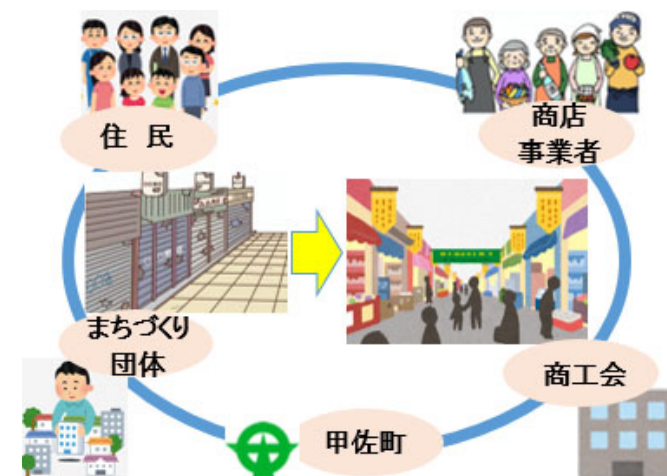
推進当初

申請者	熊本県天草市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	38,650千円 (14,750千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・良質な藻場の回復を図り、本市全域のブルーカーボン事業創出を図る ・海藻増・養殖試験実証を行い、市内における海藻増・養殖の団体を増やす ・植食魚類等の駆除実証試験を行い、藻場の保全を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ブルーカーボン創出事業 (委託料) 8,250千円 ・現地計画の策定 ・藻場の現地調査 ・二酸化炭素吸収・固定量の推計 ・クレジット申請・認証 ○海藻増・養殖試験実証実験 (委託料) 4,500千円 ・トサカリ養殖試験 (五和町二江) ・トサカリ・ワカメ養殖試験 (天草町軍ヶ浦) ・ワカメ養殖試験 (御所浦町横浦) ○有害生物駆除試験 (委託料) 2,000千円 ・有害生物 (イスズミ等) の水揚げ量調査 ・有害生物 (イスズミ等) の水揚げに伴う購入価格調査 ・有害生物 (イスズミ等) の商品化に向けた市場調査 藻場保全活動 藻場回復 (二酸化炭素吸収・固定) Jブルークレジット 有害生物商品化 漁業所得向上 企業		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本交付金事業実施に伴う農林水産就労者数 (+15人) ②本交付金事業実施に伴う新規の藻場造成面積 (+6ha) ③本交付金事業実施に伴う新規の海藻増・養殖実施団体 (+3団体) ④本交付金事業実施に伴う有害駆除実施団体 (+9団体)	関連URL	https://www.city.amakusa.kumamoto.jp/kiji00311408/index.html

事業概要【甲佐町商店街を中心とする中心市街地の活性化プロジェクト】

推進当初

申請者	熊本県甲佐町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	28,923千円 (1,113千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	甲佐町の住民、商工会、商店事業者、地域づくり団体などが連携・協力して、魅力ある商店街づくりと商業の活性化を図る。また、商店街の空き店舗等を活用した企業誘致を推進し、地域の特性を生かした起業支援を行うことで、雇用環境の充実を図り、交流人口、関係人口、定住人口を増やし、本町の人口減少数を抑制し、活力にあふれたにぎわうまちづくりを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1 甲佐町中心市街地活性化事業 1,113千円 魅力ある商店街づくりと商業の活性化を図るため、地域住民、商工会、商店事業者、地域づくり団体などで構成されるプロジェクト会議を開催し、商店街活性化のための支援策等を提案・実施する。 2 商店街魅力発信人材育成事業 デジタル技術を利用した商店街の魅力発信のための人材育成及び情報発信を行う。 3 交流人口拡大事業 町全体のにぎわい創出のため、一定の集客力のある本町の観光資源や地域資源を「集客の核」にしながら、商店街も回遊してもらえるような取り組みを実施する。 4 甲佐町やな場整備事業 町の歴史ある観光施設である「甲佐町やな場」から商店街へ年間を通して回遊してもらうため、「甲佐町やな場」の魅力を増進する整備を行う。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口 (▲639人) ②商店街と一体となったイベント等に参加した観光客数 (+1,000人) ③商店数 (+5店舗)	関連URL	https://www.town.kosa.lg.jp/q/aview/134/10741.html



事業概要【あさぎり町の地域資源を活用した共創を軸とした町民活躍のまちづくり】

推進当初

申請者	熊本県あさぎり町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	35,800千円 (8,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・未来を共創するプログラムを通じて地域人材を育むことで、学生~社会人(域外含む)、主婦、移住者など、これからの地域を担う町民がともに学び、共創を通じて自らの手で暮らしを豊かにできる人を増やすまちづくりを推進。 ・関係人口/移住人口施策を強化するとともに、上記の町民活躍を支援するプログラムと連携し、地域の担い手を増やすことで、課題解決や魅力創出を推進。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	「あさぎり町で繋がり挑戦する」ことを目的とした未来共創プログラムを創出し、関係人口を増やすとともに、地域の魅力化に取り組むまちづくり人材を増やす。 (具体事業) (1)未来共創拠点および関係/移住人口創出にかかるシティプロモーション - 広報媒体制作：(委託料) 1,900千円 (2)未来共創拠点を核としたまちづくり人材の育成プログラム「(仮称)未来共創カレッジ」の創出：(委託料) 6,100千円 - 各種イベントおよびWS等のプログラム実施 - 関係人口創出のためのインターン制度創出 - SNS運用を通じたコミュニティ形成 あさぎり町テレワーク施設ALOT(未来共創拠点) 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域のUIターン数 (+13人) ②関係人口創出数 (+587人) ③共創イベント/ワークショップ開催数 (+127回) ④関係人口創出インターンシッププログラム (+5回)	関連URL	https://www.town.asagiri.lg.jp/

地方創生推進タイプ (補正予算分)

事業概要

【万博開催を契機としたインバウンド促進と
人材育成及び関係・交流人口創出による地域活性化プロジェクト】

人材育成	観光振興	ローカルイノベーション
○	○	

推進補正

申請者	熊本県	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	130,020千円
事業タイプ	地方創生推進タイプ・補正予算分	事業分野	観光分野
目的（効果）	・万博開催を契機として、県南・阿蘇地域などの観光資源や「くまモン」を活かし、国内外からの誘客促進を図る。 ・VR等の最先端技術を活かしたプロモーションによる、阿蘇草原の魅力発信と阿蘇草原を維持する若年層の担い手育成を図る。		
事業概要・ 主な経費	○万博を契機とした誘客強化に関する事業 ・ポータルサイトへの登録支援（委託料）10,000千円 ・マーケティング活動やプロモーション等（委託料）13,500千円 ○万博を活用した阿蘇の魅力の情報発信と人材育成 ・野焼きなどを疑似体験できるVR等の作成（委託料）49,740千円 ・「阿蘇」広報ツール作成（委託料）24,780千円 ○くまモンコンテンツを活用した地域活性化 ・ツアーの開発等（委託料）27,000千円 ○外部専門人材による広報コンサルティング ・プロモーションに係るコンサルティング経費（委託料）5,000千円		
KPI	①熊本県内における一人当たり外国人旅行消費額（+7,626円） ②野焼きボランティア数（+320人） ③くまモン体験コンテンツ参加者（+30,000人）	関連URL	https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html https://premium-chef.kumamoto.jp/#

世界に誇る熊本の観光資源・文化



国宝青井阿蘇神社



阿蘇草原の野焼き



草千里ヶ浜



©2010 熊本県くまモン



球磨川ラフティング

地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)

事業概要【荒尾市ウェルネス拠点施設を中心とした地域経済活性化プロジェクト】

拠点当初

※PFI活用

申請者	熊本県荒尾市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	653,351千円 (291,937千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ (当初予算分) ※R6年度はR5年度補正予算により早期執行	事業分野 (詳細)	農林水産分野
目的 (効果)	荒尾競馬場跡地に、多くの人やモノを呼び込み地域に活気をもたらす拠点として、物販や飲食における地場製品の販売等を通じた生産者等の所得向上、及び地産地消の促進による地域内経済の循環を推進する。また、複合施設として整備する、保健・福祉・子育て支援施設と連携した健康増進や子育て支援、高規格道路の発着点という立地を活用した広域防災拠点機能、地区内に立地する周辺施設との連携等、新たな価値を創造する。		
整備内容・ 利活用方策 ※経費内訳はR6年度事業費	道の駅において、本市の優れた地域資源を来訪者に購入してもらい、生産者の所得向上を図ることで、働き甲斐が見出され、生産意欲の向上による経営耕地面積の拡大や今後も働きたいと考える高齢者を増加させるとともに若者を中心とした新たな担い手の発掘と育成につなげる。また、さらなる所得向上や支出の抑制につなげるため、スマート農水産業の推進や生産者同士の情報交換の場を設け、生産効率の向上や省力化のための取組を促す。 【設計業務】 実施設計業務委託 13,712千円 【建築物本体工事】 建築工事費 194,758千円 【建築物と不可分な設備工事】 電気・機械設備工事 83,467千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①物販施設における年間売上(+583,000千円) ②物販施設におけるレジ通過者数 (+458,000人) ③物販施設への出荷者数 (実人数) (+200人) ④当該施設の整備を機に新規に就農漁業や起業をする者の数 (+11人)	関連URL	https://www.city.arao.lg.jp/shisei/shisaku/sogo-keikaku/page4791.html



事業概要【宿泊交流拠点整備による交流促進プロジェクト】

拠点当初

申請者	熊本県津奈木町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	630,000千円 (394,792千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)	事業分野	観光分野
目的 (効果)	つなぎ温泉四季彩を宿泊交流拠点として整備することで、地域資源を活用した交流の促進やフロント的機能の拡充、地域の滞在力を向上させる。また、宿泊交流を基軸として近隣エリアとの連動性や広域エリアとの回遊性を高めることで経済的波及効果をもたらす。さらに、サテライトオフィスなどIT人材と地域産業が連携する空間を提供することで、観光業だけでなく多様な産業のデジタル活用を促進する。		
整備内容・ 利活用方策 ※経費内訳はR6年度事業費	つなぎ温泉四季彩管理棟に新たに宿泊、飲食、物販、サテライトオフィスを設け、宿泊交流拠点としてリノベーションする。宿泊交流を基軸として観光業の活性化や新たな観光産業への参入を促進する。またICTを活用したサービスの創出や地域ブランディングを推進し、起業や雇用の創出に繋げる。 ○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築工事費】 215,246千円 【建築物と不可分な設備工事】 電気設備46,551千円 給排水設備110,495千円 【工事監理】 22,500千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（全体）・・・(+183,868千円) ②観光入込客数（宿泊）・・・(+2,000人) ③宿泊付アートツアー造成数・・・(+10件) ④サテライトオフィス入居企業数・・・(+3社)	関連URL	https://www.town.tsunagi.lg.jp

地方創生拠点整備タイプ (補正予算分)

事業概要【『郷どころ』を育てる“あそび”を軸にした多世代交流拠点整備事業】

拠点補正

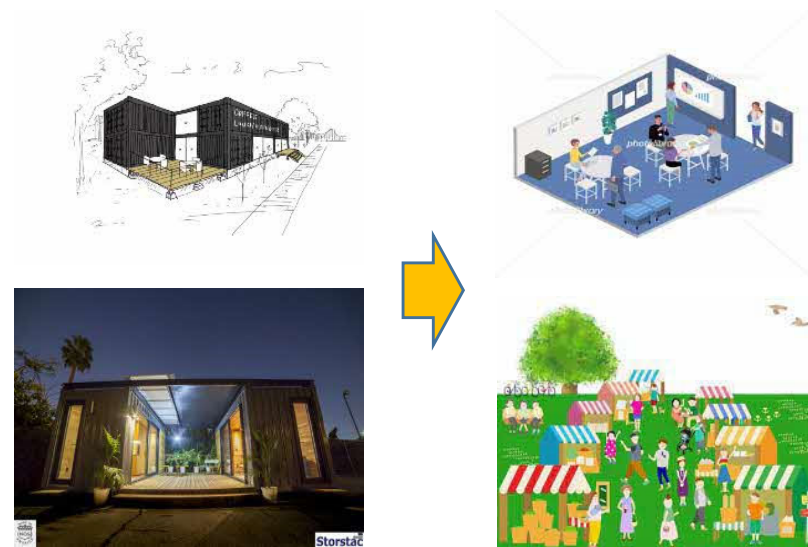
申請者	熊本県南関町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	376,790千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	町中心部にある旧温泉施設「南の関うから館」を多世代交流拠点として改修し、まちづくり活動や交流イベント、地域・文化活動を開催し、情報発信を行うことで町の魅力とシビックプライドを高め、定住・経済・観光の好循環を生み出すことを図る。		
整備内容・利活用方策	南の関うから館は4つの機能「日常的なコミュニティが醸成される賑やかな芝生広場機能、地域・文化活動が行われるホールや研修室機能、旧庁舎敷地にある図書館をうから館大浴場として利用していた部分へ移設した図書館機能、憩いの場となる飲食機能」を備えた多世代交流拠点として整備し、まちづくり活動や誰もが参加できる様々な交流イベント、地域・文化活動の開催・情報発信を行う基地として整備する。 オンライン会議用機器の整備を行い、デジタル教室やスマホ教室を開催する。 ・施設改修工事費：339,289千円 ・外構工事費等：25,082千円 ・ブランディング/webサイト構築費：6,084千円 ・家具及び備品整備費：6,335千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数（本町の社会増減数）（+40人） ②年間来場者数（+37,000人） ③観光入込客数（+180,000人） ④交流・まちづくりイベント開催数（+12回）	関連URL	https://www.town.nankan.lg.jp



申請者	熊本県長洲町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	221,000千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	天候に左右されることなく子どもたちが思いっきり遊ぶことのできる施設や、地域の多世代が交流できる場の整備等を通して、「まちの賑わい」の創出、さらには町外からの「人の流れ」へとつながることでの定住・移住施策を推進する。		
整備内容・利活用方策	「長洲町地域福祉センター」の施設改修により、子育て支援・多世代交流を促進するとともに、IoT機器等のデジタル技術活用により、施設の魅力向上及び集客数の増加を図る。 また、当該施設の近隣に点在する小学校や子育て世帯のための地域優良賃貸住宅、フットサルコート、「認定こども園」等の各施設との相乗効果による周辺エリアの魅力向上等による移住・定住の推進を図る。 施設内にWI-FIを整備し、スマホ教室やオンライン教室を開催する。 ・施設改修工事費：177,000千円 ・屋内遊具整備費等：34,000千円 ・IoT機器設置費等：10,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①UIターン数（+34人） ②町施策を利用して移住した子育て世帯数（+9世帯） ③子育て支援に対して満足していると答えた人の割合（+70%） ④施設の利用者数（+20,000人）	関連URL	調整中

申請者	熊本県南阿蘇村	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	306,572千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	令和6年2月に完成した阿蘇立野ダムを新たな観光資源として活用するため、ダム建設工事で利用した工事ヤードに拠点施設を整備する。この拠点施設は、阿蘇立野ダムや南阿蘇鉄道などの観光資源と阿蘇ジオパーク（立野峡谷）やダム左岸の北向山原生林といった自然環境、熊本地震時の長期避難者帰還率増を目指している立野地域の活性化を融合した「交流の場」とする施設を中心とした観光施策の推進と、観光消費額の低下やインバウンドの減少、地域産業の衰退といった地域課題解決を図ることを目的とする。		
整備内容・利活用方策	拠点施設内は、カフェスペースを整備し、来場者の滞在時間を延ばすとともに観光情報を提供する。また、施設南側の大屋根スペースとダム建設工事遺構でもある骨材貯蔵びん基礎を活用した巨大展望所を連結し、阿蘇立野ダムや熊本平野、有明海までの眺望を阿蘇カルデラの切れ目と共に楽しんでもらう。キッチンカーによるマルシェや地元野菜販売の軽トラ市なども開催し、集客や売上向上を図る。 更には、デジタルサイネージを活用し、ジオ学習や熊本地震に関する防災学習など修学旅行や外国人団体客を誘致する。 ・拠点施設整備費：271,002千円 ・外構工事費：10,170千円 ・デジタルサイネージ設置費：15,400千円 ・施設備品：10,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+1,919,811千円） ②移住定住者数（+300人） ③地元住民や組合等による活用及び隣接市町村とのイベント開催（+14回） ④防災・ジオ学習の実施（+14回）	関連URL	調整中

申請者	熊本県甲佐町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	80,334千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	スタートアップ事業者等の貸しオフィス・テナント施設及びオープンスペースを整備することで、賑わいを創出するとともに、地元商店街の活性化及び地元購買率の向上を図る。		
整備内容・利活用方策	商店街の空き地を活用し、貸しオフィス・テナント施設及びオープンスペースを整備することで事業者等を支援するとともに、商店街の活性化につなげる。 【総事業費】 89,602千円 【交付対象事業費】 80,334千円 設計及び監理委託料：7,000千円 施設整備工事費：64,611千円 外構工事費：6,820千円 デジタルサイネージ設置費等：1,903千円 【交付対象外事業費】 9,268千円 用地買収費：9,268千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+14人） ②スタートアップ企業等入居数（+6社） ③セミナー等の実施回数（+17回）	関連URL	https://www.town.kosa.lg.jp/q/a/view/134/10741.html



申請者	熊本県錦町	採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	9,990千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	「道の駅」にある農産物直売所において、店内スペースを拡張するとともに、キャッシュレス決済対応のレジシステムを導入することで来客者のニーズに対応し、キャッシュレス決済を求める新規客層の獲得による売上額の増加及び農産物生産者の所得向上を図る。		
整備内容・利活用方策	道の駅にある農産物直売所において、店内スペースを拡張し、陳列商品の増加や売り場の回遊性の向上を図る。また、キャッシュレス決済対応のレジシステムを導入し、顧客の利便性向上を図ることで、キャッシュレス決済を求める新規客層の獲得による売上向上、農産物生産者の所得向上、レジ作業の時間短縮による業務の効率化に取り組むとともに、キャッシュレス対応レジシステムによって得られるデータを分析・活用して町内観光施設との回遊性を強化することで、町内における観光消費額の増加を図る。 ○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事】 建築工事費 7,370千円 ○効果促進事業（ハード事業）の内容 【キャッシュレス対応レジシステム導入費用】 200千円 【陳列棚購入費用】 2,420千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+528,746千円） ②農産物直売所くらんど市における売上額（+84,227千円） ③農産物直売所くらんど市への来客数（+61,661人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.town.Kumamoto-nishiki.lg.jp （効果検証） https://www.town.Kumamoto-nishiki.lg.jp



申請者	熊本県五木村	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	165,600千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	道の駅「子守唄の里五木」の物産施設「山の幸館」について、改修を行い、地域住民向け商品の取り扱い量を増やすなど、地域住民サービスを向上するとともに、回遊性の高い魅力的な施設とすることで、地域産業や観光振興の活性化を図る。		
整備内容・利活用方策	既存の建物を可能な限り利用する前提で必要な機能の見直しや配置替え等を実施し、売場面積の拡大やデジタルサイネージを活用した観光情報発信機能の向上を図る。 ・改修工事費 139,700千円 ・外構工事費 5,900千円 ・デジタルサイネージ導入費等 17,000千円 ・設備整備費（什器等） 3,000千円 配置イメージ図（案）		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①人口社会増減数（+25人） ②施設売上高（+7,146千円） ③施設来場者数（+6,100人） ④デジタルサイネージを活用した情報発信数（+68件）	関連URL	https://www.vill.itsuki.lg.jp